

第4部 快適環境の現況と対策

第1章 自然景観

第1節 名水

1 昭和の名水百選

環境省が、昭和60年度に「名水百選」を発表しました。本県からは、「出^{いで}の山^{やま}湧水」と「綾川^{あやがわ}湧水群」の2つが選ばれています。

2 平成の名水百選

環境省が、水環境保全の一層の推進を図ることを目的に選定したもので、地域の生活に溶け込んでいる清澄な水や水環境のなかで、特に、地域住民等による主体的かつ持続的な水環境の保全活動が行われているものを、「昭和の名水百選」に加え、新たな名水、「平成の名水百選」として選定したものです。本県からは、「妙^{みょう}見^{けん}神^{しん}水^{すい}」が選ばれています。

3 宮崎の名水

県では、平成4年度に、本県の豊かな自然に育まれた河川や湧水などの水環境の中から、特に良好なものを県民に広く紹介することにより、その保全と水質保全意識の向上を図るため、「宮崎の名水」として21件を選定し、紹介のためのガイドブック「ひむか水紀行」を発行しました。

第2節 音風景

平成8年度に環境庁が行った、残したい“日本の音風景100選”事業は、環境計画の趣旨を踏まえ、本県からは「えびの高原^{こうげん}の野生鹿^{やせいじか}」と「三之宮^{さんのみみやう}峡^{やぐら}の櫓^{とどろ}の轟」の2つの音風景が選ばれています。

第3節 かおり風景

平成13年度に環境省は、豊かなかおりとその源となる自然や文化・生活を一体として将来に残し、伝えていくため“かおり風景”として100地点を選定しました。

本県からは「五ヶ瀬川の鮎^{あや}焼き」が選ばれています。